

大野 新吉会員

(中條年度地区大会実行委員長)

2006～2007年中條ガバナー年度の地区大会実行委員長として、渡辺ガバナー年度の地区大会の報告をせよと会長のご指名がありましたので報告させていただきます。

私が特に興味を持って拝見させていただいたことは第一に本会議場での会場設営の件、第二にその本大会での諸運営の件、第三に親睦交流会の件とそれにかかわる総予算経費でございました。

会場設営では国際会議場としての設備、特に大型スクリーン2台による各シーンの投影で後方着座の会員にも十二分に判断できる配慮があり、マイク音響効果も良く、大会本会議は二日間の余裕或る時間配分で遠方来のロータリアンも充分交流会に参加できたと思います。又、親睦交流会ではウェルカムドリンク前後歓迎ふれ太鼓？でロータリアンを各テーブルに迎えウェルカムダンス（アルビレックスチアリーダーズ）の若いエネルギッシュの爽やかな演出で盛り上げられ、又今までにない初の催し物と思いますが、「ロータリーを楽しく地区（新潟）を元気に」のスローガンで

各分区毎に出し物があり通常ですと途中退席される会員の足を引き留めたのではないかと拝察されました。料理内容の件では全会員着座のテーブルはあったものの、バイキング式で料理は銘々取りに行くスタイルで料理前に並んで待ち時間がもったいなく少ない時間のなかで友好を深める時間が取られたのではないかと考えられました。又お客のわがままで少ないコンパニオンや若い古町芸妓を料理前に並ばせサービスさせず、線香がとぼつてももったいないなあ～と思ったのは私だけだったでしょうか？大盛り料理は1時間位でほとんど売り切れ一部好まない料理は手つかずでしたが、総人数の5～6掛けの量だったのかな？と考えられました。

プログラムの頁末には関係ロータリアンや著名な会社の宣伝とか収入源は得られたものの、会場費は三条とは及びもつかない数字だろうなあ～と大きなお世話をつい考える私です。

ロータリ財団早川委員長・米山燦学堀川副委員長からは1日目の会議の様子がありました。



